

「1.17メッセージ」応募用紙

「この温かい支援をありがとうございます」
とお礼です。

あの寒い中に出しゃぎに給食はとて

して下さった皆様の温かさを思い出しています。

ありがとうございます。

新潟の皆様も大変に思っています。
元氣を、とて。

(お名前) ^{やまもと} 山本 ^{みづ} 美穂

(年齢) 28

(ご住所) 茨城 都道府県 神戶 市・郡

「1.17メッセージ」応募用紙

95年1月17日 明石市で震災のあい、ウイウインは
ストップの、家族無事

96年1月17日 長女が生まれまけ
震災復興に向け、街の笑顔が溢れてほしいとの
願いより「笑(エガ)」と名付けまけ
その一年後 長男が生まれまけ
楽しい街であってほしいと願いを込めて
「楽(ガク)」と名付けまけ

02年9月 仕事の関係で 横浜に引越し

03年9月 仕事の関係で 神戸へ

震災から10年を迎える今年、三人目が誕生
夢を託して生まれてほしいとの願いから「夢(ユメ)」と名付けまけ

今思ふに

兵庫県丹波市(旧氷上郡)で生まれ、京都で育ち、明石、横浜と
引越し、やっぱり「神戸」が大好きです

(お名前) 三原 浩文

(年齢) 38歳

(ご住所) 兵庫県 神戸市

「1.17メッセージ」応募用紙

がんばろう KOBE

がんばるぞ 神戸

フリガナ
(お名前)

(年齢)

40

(ご住所)

都道府県

神戸市・郡

「1・17メッセージ」応募用紙

震災で学んだこと

- 一、地震が起きたら、まず家からでること
- 二、連絡できるものを持参すること
- 三、身内に安否の連絡を入れること
- 四、助け合うこと
- 五、勇気付けあうこと
- 六、前を向くこと
- 七、毎年、1月17日に黙祷すること

(お名前)

(年齢) 34

(ご住所)

都道府県 神戸市 市・郡

「1・17メッセージ」応募用紙

自分の勤務していた会社の一階がない……。
どうしていいのかわからない。
とりあえず自宅待機。
数ヵ月後、別ビルで仮営業、そして再開……。

今思う。
百貨店で接客して、販売して、売上上げて、利益出して……。
でも、大切なのは、社会に貢献すること。

1月17日。普段眠い目をこすりながら会社に出勤するわたしが
この日だけは、神戸の街を歩き交う人、お店にお買い物に来られる人、
ただせわしなく行き交う人を見ているだけで、涙が出ます。

涙の意味がはっきりわかりませんが。

(お名前)

(年齢) 40

(ご住所)

都道府県 神戸市・郡

「1.17メッセージ」応募用紙

10年前、私は幸い、転勤で愛知県にいたため、直接震災には合いませんでした。しかし東家としてしばらく連絡が取れず、月末に帰神した際に目にした惨状、自分が働いていたビルが倒壊しているのを今でも忘れられません。そして知人が数名亡くなっており、自身も前後に不幸が続き、決して忘れることのできない時間を過ごしました。

今、私も神戸に戻り、復興した神戸に家族とともに住んでいます。

あの時の神戸の姿を決して忘れることなく、今の幸せを感じ、子供達にも伝えたいと考えています。

(お名前)

モロ 24 3/12/5
末宮 雄三郎

(年齢)

43才

(ご住所)

兵庫

都道府県

神戸市・郡

「1.17メッセージ」応募用紙

1月17日の大きな揺れは、今でも、忘れることが
できません。

天災の恐ろしさ、悲しさも突然一気にみんなに身近に
見せつけられ、ショックは痛烈なものでした。

でも-今では、ボランティアの人々のやさしさで、どん底の中から
立ち上がる人々のたくましさもニュースなどの報道で
知り、唯一の救いでした。人間、どんな逆境に遭遇しても
がんばれるんだなと痛感しました。

あの時の経験を生かし、人生前向きに力強く、元気で
生きていきたいと思います

(お名前)

高橋 正子

(年齢)

35

(ご住所)

兵庫

都道府県

神戸

市・郡

阪神・淡路大震災10周年記念

「1.17メッセージ」応募用紙

全国各地の消防車などの応援に
かけつけてくれているのを見て、涙が出ました。
そしてとても励まされました。

たくさんの方々のあたたかさを知りました。
近所の人たちとも前よりもっと親しくなりました。
都会はつめたいとか、現代人は助け合い精神が
希薄だとか言われるのが、よくは聞こえてお
思いました。

あの時の感謝や感動を忘れないで、ぬくもりの
ある社会を築いていけたら...と思います。

| | | | |
|-----|---------|-------|-----|
| お名前 | 前田 紀世子 | 年齢 | 47才 |
| ご住所 | 兵庫 都道府県 | 神戸 市郡 | |

「1.17メッセージ」応募用紙

初めてテレビに映し出された見慣れた神戸の風景が一変した倒壊した家、ビル、燃え盛る町並みは衝撃的でした。

又、文明の利器の中で、当たり前のように生活を送っていたので、震災後の不便さは非常に大変でした。

しかし、この震災を通じ感じたことがあります。人の命の大切さはかなさ、物の大切さ、逆境におかれた方にこそその人々の助け合いの糸、復興のきざしを求め毎日頑張る人々のたくましさ。日本では今まで話題にならなかったボランティアの力強さ。これを機会に次の時代に受けつがれ、実行、そして継続されるよう祈っている毎日です。

(お名前)

田中 透

(年齢)

82

(ご住所)

兵庫

都道府県

神戸市・郡

阪神・淡路大震災10周年記念

「1.17メッセージ」応募用紙

復興でいちばん大変だった頃は、
体も心も疲れていたらけど、お互いを
思いやる気持ちはあるれていました。
10年という月日は悲しかった思い出と共に
やさしい気持ちも少しずつ風化させてしまいました。
今、同じ思い出をしている人達には絶対に忘れて
ほくはありません。
絶対に負けたいぞ。

| | | | | |
|-------------|-----------------|------|------|-----|
| ふりがな お名前 | かんだ ちよ 神田 昌代 | 年齢 | 36 才 | |
| ご住所 | 兵庫 | 都道府県 | 神戸 | 市・郡 |

「1.17メッセージ」応募用紙

震災の時は海外にいました。CNNニュースで日本特派員が神戸の状況を報告しているのを見て、今すぐにでもかけつけて支援したい気持ちでいっぱいでした。妻の実家も被災し、仮設住宅で暮らしていました。又、多くの知人、友人を亡くしました。

絶文才に、あの日々を忘れてはいけません。

全国、いや世界各国からの支援を忘れず、

今後とも前向きに進んでいきましょう。

(お名前) 辰井 哲

(年齢) 44才

(ご住所) 兵庫 都道府県) 神戸 (市・郡)

「1.17メッセージ」応募用紙

西神店（そごう）に勤務していました。1/17早朝に発生した地震で、家の中は無茶苦茶。でも命がありました。家族も無事。

勤務していたお店に向いました。店内の陳列商品は無茶苦茶。一人、また一人と社員が駆けつけ、片づけを開始。深夜に及びました。

明日、開店するのはムリだと当然のように思っていた矢先、県庁から営業依頼の連絡有り。この時点で、神戸がどのような状態なのかは全くわからなかった。

徹夜で営業に向けた作業を数人で実施。

- ・被災の少ない地域の社員へ出勤要請
- ・商品の陳列（食料品）
- ・大阪からパトカー先導で、商品の搬入

まだ、何が起きているのかははっきりわからず作業を続けた。

夜中の2時ごろ、休憩とばかりにふと外へ出た時、店の正面玄関に、数百メートルの人の列。寒い中、裸足の方も、一言も文句を言わず。

初めて、神戸の惨状がはっきりとした瞬間だった。

とにかく、商品をださなくては・・・

翌朝、臨時開店。水、防寒用具、レトルト食品、見る見るうちになくなっていく商品。

このとき、百貨店に勤務して初めて味わったことがあります。

人のために尽くす仕事なんだ。「社会の公器」なんだ。

今、その思いを忘れず、地元の方へ尽くしています。

（お名前）

（年齢）32

（ご住所）

都道府県 神戸市・郡

「1.17メッセージ」応募用紙

阪神・淡路大震災の時の教訓は生きているか？
あれから10年を迎えようとしている中、
新聞の記事が、震災関連で埋め尽くされている昨今
このようなことをふと思うことがあります。

天災はいつくるかわからない。だから、どんなに対策を
講じても難しいと思う。だから、教訓なんてあっても一緒。
という方もいる。

間違っていない。対策は講じるほうが良いに決まっている。
でも、規模次第では手も足もでない。

どんなに大きな災害であっても、変わらぬ対策がある、と信じている。
それは、「助け合い」と「思いやり」である。

当時、全く知らない方からたくさんの勇気をいただいた。
普段話をしたこともなければ、顔も知らない方より。

人間って捨てたもんじゃないな、と思った。

対策を講じなくても、普段から「人への思い」を持っていれば
どんなにつらい震災でも乗り越えられると確信しています。

(お名前)

(年齢) 50

(ご住所)

都道府県 神戸市・郡

「1.17メッセージ」応募用紙

石油ストーブは必需品です。

石油ストーブ・ヒーター・ガスストーブ（電気）エアコンは
ライフラインが断たれると全く使えなくなるので、

石油ストーブは暖もとれど煮たまもできず

一台 ありと 必ず役に立ちます
有事の際

(お名前) 中野 亨

(年齢) 38

(ご住所) 大阪 都道府県 神戸 市・郡

阪神・淡路大震災10周年記念

「1.17メッセージ」応募用紙

10年前、震災が起きた当時はTVでその光景を見ただけの自分が、現在神戸の地に
住むことになるとはとて思議な気持ちです。
震災の跡は感じられぬようなきれいな道路や
建物が並んでいるのを見ると復興への信念や
団結力が感じられるように思います。
いつ起こるか分からない自然災害の恐ろしさを、阪神
大震災から10年という節目に神戸に住む自分自身が
今一度考えたいと思います。

| | | | | |
|-------------|------------|----------|----|------|
| ふりがな お名前 | しの だ 篠田 | まみ 麻美 | 年齢 | 23 才 |
| ご住所 | 兵庫 | 都道府県 | 神戸 | 市・郡 |

「1.17メッセージ」応募用紙

生まれ育った大好きな神戸の街が一瞬には変わり果て
この日から、どうなるのか、家も失い、不安に押しつぶされそうなる時、
線路のそばで会った知らないおばあちゃんか

「このお飲みなさい。ご家族は何人なの？」

と缶コーヒーと茶とを出して下さいました。おばあちゃんの
優しいまじりのこめたあの缶コーヒーの味は一生忘れる事は
ないと思えます。

この10年間、本当に多くの皆様を支えて下さいました。

きちんと御礼をお伝え出来なかった方もいらっしゃるのぞ、申し訳ない
気持ちです。本当にありがとうございました。

震災で亡くなった友人や知人の御家族、多くの皆様の命も
この日から、頑張る、人生を歩んでいけたと思えます。

| | | | |
|-------------|------------------------|------|-------|
| ふりがな お名前 | たい かい せい 穂 子 大海 美穂子 | 年 齢 | 3 / 才 |
| ご住所 | 兵庫 | 都道府県 | 神戸 |
| | | 市・郡 | (市) 郡 |

「1.17メッセージ」応募用紙

今年10歳になる長女を見て、
—あれからもう10年の年月が過ぎたのだなあと感じます。
当時、お月さま長女をかかえ、水もガスも無い状況の中、
とても不安な毎日でした。全国の水道局の方が水を運んで来て、
自衛隊の仮設のお風呂に入れてもらえたり、ボランティアの方が
配り下されたおトヨリ、また、友人らからのお見舞、励まし
に支えられ、こんなにも人の心の暖かさを感じた事はありません。
当時の気持ち、時とと希薄にたいて日々の暮らしの中でともれば
忘れてしまいかたが、10年目のこの日あらためて
当時の状況、感謝の気持ち、共に助け合う人々のつたがり
晋段忘れてしまっている何かを思いかえし、あらためて『生きている事への
感謝』を思ひたいと思います。

全国の皆様、あの時は本当にありがとうございました。

(お名前) 赤松 聖子

(年齢) 41才

(ご住所) 兵庫 都道府県 神戸 市・郡

阪神・淡路大震災10周年記念

「1.17メッセージ」応募用紙

1.17は

感謝の気持ちを

忘れません。

- ・人へのおみやげに —
- ・復旧に — 復興に —
- ・数々のボランティアの方々に —
- ・全国からの支援に —
- ・励ましの言葉に —

＝ たおけあう心を大切にしていけます。 ＝

| | | | |
|-------------|---------|----|------|
| ありがな お名前 | 清水 真保 | 年齢 | 56 才 |
| ご住所 | 兵庫 都道府県 | 神戸 | 市・郡 |

阪神・淡路大震災10周年記念

「1.17メッセージ」応募用紙

初めてひとり暮らしをしたのが
神戸。

沢山の思い出ができる様に
素敵なお家づくりをお願いします。

| | | | | | |
|-------------|--------|------|-----|---|---|
| ふりがな お名前 | 木木田 裕子 | 年齢 | 24才 | | |
| ご住所 | 兵庫 | 都道府県 | 神戸 | 市 | 郡 |

「1.17メッセージ」応募用紙

震災後、神戸に移り住み、復興を見てきました。

“人の力”って、すごいなあと思いました。

これから、みんながんばりな！

(お名前) ^{坂口} 坂口 ^{文子} 文子

(年齢) 30

(ご住所) 兵庫 都道府県) 神戸 市・郡

阪神・淡路大震災10周年記念

「1.17メッセージ」応募用紙

「人類皆兄弟」

助け合って頑張りましょう。

苦しい時こそ、元気に明るく!!

| | | | |
|-------------|-------------------|------|-----|
| ふりがな お名前 | もと き 直也 元 木 直也 | 年 齢 | 35才 |
| ご住所 | 兵庫県 神戸市 | 都道府県 | 神戸市 |

「1.17メッセージ」応募用紙

燃え盛る空の中から ---
倒壊したガレキの下から ---
押し潰された家屋の中から ---
助けを求めろ声、声、声、 今も喉から、耳から流さ
る涙がありません。
— 又も多くの人を --- と走り回った災害現場。
油バタの復興行事はもういらない。
美しい神戸を守るのは私たち市民です。
新しい神戸を創るのも私たち市民です。
お互い頑張らましよう。

(お名前) ^{ナカノ} ^{チヨウ} ^{カズミ}
中野 清和

(年齢) 69

(ご住所) 兵庫 都道府県 神戸市 郡

阪神・淡路大震災10周年記念

「1.17メッセージ」応募用紙

今年この震災が遠因でおとす
にはおとす 数十名の お名前が
慰霊碑^{新刊}に刻られるとの新聞記事をみれば
あらためてこの震災がおとすに
たげられる方の 悲痛を祈り
致しむるに 哀れむる 多量に
おとすのためにも 精一杯 毎日の仕事に
おとすにむくむ。

| | | | |
|-------------|---------|--------|------|
| ふりがな お名前 | 小川 至 | 年齢 | 36 才 |
| ご住所 | 兵庫 都道府県 | 神戸 市・郡 | |

阪神・淡路大震災10周年記念

「1.17メッセージ」応募用紙

あの時は、多くの方々から、心暖まるご支援を頂き
早や、10年が経ち、ルミナリエも10回目を迎え神戸らしいも
戻ってきました。

ルミナリエと共に、あの時の事を忘れない様に



人と人との輪を大切に！！

伝えていきたいです。

| | | | |
|-------------|-----------------|------|--------|
| ふりがな お名前 | 神戸そごうカラーフォーマル一同 | 年齢 | 才 |
| ご住所 | 兵庫 | 都道府県 | 神戸 市・郡 |

阪神・淡路大震災10周年記念

「1.17メッセージ」応募用紙

今、神戸に住んでいます。

街は地震があつたとは思えないくらい復興していて、人間の生きる力に驚かされます。

それでもまだ、被災の悲しみや傷跡は残っているのだと思います。

みんなが幸せになるように願います。

| | | | | |
|-------------|--|------|-----|-----|
| ふりがな お名前 | ^{まき} ^{かわ} ^{よう} ^こ 前川陽子 | 年齢 | 24才 | |
| ご住所 | 兵庫 | 都道府県 | 神戸 | 市・郡 |

阪神・淡路大震災10周年記念

「1.17メッセージ」応募用紙

10年前は、中学1年で神戸に住んでいなかったのにテレビのニュースで知りました。とてもショックを受けた出来事でしたが、被災地の方々は大変つらい思いをされたと思います。

そのため、私は募金など遠くにいっても何とか少しでもお役にになりたいと思い活動をしました。

10年経った今でも決して忘れてはいけない事だと思います。

| | | | |
|-------------|-----------------|------|--------|
| ふりがな お名前 | かみや みほ 神谷 美保 | 年齢 | 23 才 |
| ご住所 | 兵庫 | 都道府県 | 神戸 市・部 |

阪神・淡路大震災10周年記念

「1.17メッセージ」応募用紙

自然災害は怖いと思いました。

電気・ガス・水道が止まりとても不便な思いをしました。

その際に色々な方から支援をいただき本当に感謝しております。

今現在災害にあわれ不便な思いをしている方に少しでもお役に立てる様私自身努力を怠りません。

| | | | | |
|-------------|-------|------|-----|----|
| ふりがな お名前 | 栗田 益代 | 年齢 | 22才 | |
| ご住所 | 兵庫 | 都道府県 | 神戸 | 市郡 |

阪神・淡路大震災10周年記念

「1.17メッセージ」応募用紙

阪神・淡路大震災から、はや10年。当時、私は、音楽教室のピアノ講師として
おげんでいました。大震災とともに、音楽教室は、うしろになりました。
その時に家族や友人のおげましとともに、私も、音楽教室は、おくちでも
人と人との思いやりの心と、心の強さを学びました。
今、現在は、別の仕事に毎日、おんは、ていますが、仕事は、おくちでも、志は、
おくちません。おくちらず、ピンチのおとには、チャンスは、あります。

| | | | | |
|-------------|-----------|----------|----|-------|
| ふりがな お名前 | ほんま 本間 | かおり 香 | 年齢 | 41 才 |
| ご住所 | 兵庫 | 都道府県) | 神戸 | (市) 郡 |

阪神・淡路大震災10周年記念

「1.17メッセージ」応募用紙

私は阪神・淡路大震災の時は県外にいました。
現在の神戸からは震災当時を思い浮かべることは
できませんでした。
しかし、新潟の地震の際に神戸の方々が「あの時お世話に
なっただから」と募金をする姿を見て、震災の苦勞を
とても感じました。
「震災があっただなあ」と思いました。
被災者の方の想いを共有することはできませんが、
感じながら神戸で暮らしていきたいと思っています。

| | | | | |
|-------------|------------|-----------|----|------|
| ふりがな お名前 | まつはら 松原 | あやの 綾乃 | 年齢 | 24 才 |
| ご住所 | 兵庫 | 都道府県 | 神戸 | 市・郡 |

「1.17メッセージ」応募用紙

多くの方から「勇気」と「希望」の種を頂きました。

ありがとうございます。

心の華は満開です。

(お名前)

山畑 仁寛

(年齢)

(ご住所)

都道府県

神戸

市・郡

「1.17メッセージ」応募用紙

10年経った今、自分の家(生活空間)がなくなること
食べ物がなくなること、命の恐怖を感じることを
がなくなるともいけないという

忘れてしまって、今、日常生活を送ってしまっています。

当時は10年後を思い描くことは出来ず、1年以内
にまた、大きな地震が来るだろうとビクビクしていた
ことを思い出します。

恐怖が思い出に変わったことを幸せに
感じます。

(お名前) 新田 めぐみ

(年齢) 27歳

(ご住所) 兵庫 都道府県 神戸 市・郡

阪神・淡路大震災10周年記念

「1.17メッセージ」応募用紙

私の一年のスタートは元旦ではない。95年のあの日以来、1月17日に
 始まっている。あの朝のことは昨日の出来事よりも鮮明に心の中にある。
 いくつかの偶然が私達家族を守った。渦を巻き回転しながら家々を
 巻き込んで進んでいく炎をただじっと見ていた。

尊いと思うべき「ごく普通の暮らし」。頭ではわかっていても実際に失って
 みなければ心に感じることはできない。同じ時、同じ場所で
 同じような体験をした者同士でもそれぞれの思い、辛さ、悲しさ、傷の深さは
 違う。他人が感じている痛みを体感することは決してできない。

けれどもだからこそ何とか少しでもその思いを痛みを推測しようとすることが
 尊いと感じている。震災後連絡を取れずにいた友人と偶然、駅で
 再会したとき彼女が言ってくれた。「生きてくれていて良かった。」

「1月17日」日々の暮らしの中で少し片隅に置かれている大切なことを
 自然と呼び起こしてくれる節目の日であり続けるだろう。

| | | | |
|-------------|--------------------|-------|---------|
| ふりがな お名前 | ヤマノ くらみこ 山比 久美子 | 年齢 | 35才 |
| ご住所 | 兵庫 | 都道府県) | 神戸 市) 郡 |

阪神・淡路大震災10周年記念

「1.17メッセージ」応募用紙

阪神・淡路大震災から、もうすぐ10年目を迎えます。

当時の地震は今でも、よく覚えています。

時々、地震があると、とても驚いてしまいます。

もう絶対に、あんな大きな地震がないことを祈ります。

先日、テレビで新潟の被災地の番組を見ました。

神戸とはまたちがった、たくさんの問題があるのだと

思いました。それぞれの人々に、たくさんの大変な事が

あると思います。新潟の方々、に希望を持って

復興への道を歩んで、いただきたいと心より思っています。

| | | | |
|-------------|---------|--------|------|
| ふりがな お名前 | 岸本 佳奈子 | 年齢 | 32 才 |
| ご住所 | 兵庫 都道府県 | 神戸 市・郡 | |

阪神・淡路大震災10周年記念

「1.17メッセージ」応募用紙

阪神-淡路大震災が発生してからはや 10年がたとうとしている。
 月日 ~~の~~ たつのは本当に早、もつれとつくづく思います。それだけ
 町並は一瞬にして廃墟となり、しばらくは何からどう手をつけようか
 もからず、ボトといまじく。このままではいけないと思、気持ちを奮いたせ
 ました。うけつらに断られ、真冬にもかわらず、給水車からもらった一杯の
 水のおいしかったこと今でも忘れません。全国、海外からの暖かい
 はげましのメッセージ、ボランティアの方や 救援物資等の支援があり、ほとんどの
 被災者は立ち直る子 ことかできました。と思います。
 ライフラインの早急な復旧、ボランティア活動、地域の方々の たくましく精神の
 必要性を感じます。
 全国のみならずの暖かいご支援ありがとうございました。

| | | | |
|-------------|------------------------------|------|-----|
| ふりがな お名前 | しもつや ^{みさ} 下津屋 満代 | 年齢 | 57才 |
| ご住所 | 兵庫 | 都道府県 | 神戸市 |
| | | | 市・郡 |

阪神・淡路大震災10周年記念

「1.17メッセージ」応募用紙

震災で被災し、他県や他国からたくさんの支援を受け、大変でしたが、全く知らない人たちから頂いた気持ちのおかげです。

支援金はごく自然に出るようになった

自分は、あの震災で変わるエネルギーが生まれたと思っています。

| | | | |
|-------------|-------|------|----------|
| ふりがな お名前 | 木村 明子 | 年齢 | 24 才 |
| ご住所 | 兵庫県 | 都道府県 | 神戸 (市) 郡 |

阪神・淡路大震災10周年記念

「1.17メッセージ」応募用紙

阪神・淡路大震災の時、私は「西神エコー」で勤務してました。
 「神戸店」が大打撃を受けて営業不能に陥った時、「西神エコー」の存在が
 大至くコースアップで、神戸市営地下鉄が運行を続け、多くの人が「西神
 エコー」で買物に来てくれた。私は顧客の方々に電話で「おはよう」を
 してました。その時、百貨店が荷物の地域への役割、お客様への関
 心と強く感じました。阪神大震災は未曾有の大災害で私も心労が
 重なり肩膜潰瘍になりましたが、大至く防災の課題を残し、
 地域全体がこれに取り組んでいかれる事を、未来のため、子供達のため
 強く願っています。

| | | | |
|-------------------|--------------|--------|---|
| ありがとうございます お名前 | エコー 木下 咲子 | 年齢 | 才 |
| ご住所 | 兵庫 都道府県 | 神戸 市・区 | |

阪神・淡路大震災10周年記念

「1.17メッセージ」応募用紙

震災10年がたり全国の皆様の
おかげで、^{すこ}立ち直ることができました。
これからは、私達兵庫県民が
恩返しする者です

| | | | |
|-------------|-----|------|-----|
| ふりがな お名前 | 秀子 | 年齢 | 才 |
| ご住所 | 兵庫県 | 都道府県 | 神戸市 |

「1.17メッセージ」応募用紙

あれから10年経ちました。

私の周りの環境もすっかり変わりましたが、

あの時ほど人のあたたかさを感じたことはありませんでした。

新潟のみなさんも大変に苦労されていると思いますが、

前向きにがんばってほしいです。

~~笑顔~~でみなさん^に笑顔が戻りますように

お祈りにいたします。

(お名前)

松永 篤

(年齢)

38

(ご住所)

兵庫 都道府県 神戸 市・郡

「1.17メッセージ」応募用紙

人生が変わったあの日。失ったものもたくさんありますが、いろいろな人の心の暖かさ、思いやり、勇気をいただくことも出来ました。

あの体験があったから、より生きる喜びを感じる事が出来、感謝する気持ちを持つようになりました。

(お名前) 三木 洋子

(年齢)

(ご住所) 兵庫 都道府県 神戸 市・郡

「1.17メッセージ」応募用紙

あの時から10年
みんないろいろなことを乗り越えてきました。
人の心も自然も街も
前よりももっとやさしく、美しく、住み易く。
ありがとう。

(お名前) 石橋明美

(年齢) 58才

(ご住所) 兵庫 都道府県 神戸市・郡

阪神・淡路大震災10周年記念

「1.17メッセージ」応募用紙

震災から10年経ちましたが、あの時の恐ろしさ、つらさは今でも忘れることができません。当時私は大阪で生活しておりましたので大きな被害には遭わなかったのですが、阪神間にお住まいであった方にはこれまで大変なご苦勞をされたことと思います。また、震災で亡くなられた方にはご冥福をお祈り申し上げます。

私も当時“これから神戸はどうなってゆくのだろうか？”“果たして復興なんかできるのだろうか？”ばかり考えておりましたが現在はすばらしい街に生まれ変わりました。しかし、当時の震災の体験は絶対に忘れてはなりません。

現在多くの方々が震災10年を迎えるにあたり、ボランティアやチャリティー活動をされていらっしゃいます。私も自分のできる範囲で神戸の街に貢献できればと思います。

| | | | |
|-------------|---------|----|------|
| ふりがな お名前 | 清水 康弘 | 年齢 | 37 才 |
| ご住所 | 兵庫 都道府県 | 神戸 | 市・郡 |

阪神・淡路大震災10周年記念

「1.17メッセージ」応募用紙

阪神・淡路大震災から、もういつの間にか10年過ぎました。
当時、私は中学生で生まれて初めて大震災を経験し、自然の
恐ろしさ、物の大切さ、人々の暖かさを改めて感じました。
人間は忘れてしまう生き物ですが、これからもこの震災の
ことを胸に留めつつ、いろいろな物事に対する感謝の気持ちを
忘れずに生きて行こうと思います。

| | | | |
|-------------|-------------------|-------|------|
| ふりがな お名前 | ふかつ 真衣子 深津 真衣子 | 年齢 | 23 才 |
| ご住所 | 兵庫 都道府県 | 神戸 市郡 | |

「1.17メッセージ」応募用紙

夢にも思わぬ神戸震災、あつたあつたの10年かたにふりかへ、
町はどの様になつたか、不安と心配でいっぱい、私の勤務先にも
会社も被害にあつた。どの様に表現に良いか解りません。
10年という月日の間、一日一日薄くいく震災の時の気持ちと状況、
おぼろげにその時の思い出を引く流す又戻す方法、
一つの記憶に又、新たな気持ちで、生活していくと思つておりました。
今年、又、起つた、中越地震、テレビの映像を見れば、皆様に随分おぼ
ろげに思い出した。

(お名前) 糸田川 幸子

(年齢) 59

(ご住所) 兵庫 都道府県 神戸 西・郡

「1.17メッセージ」応募用紙

震災の折には神戸に住んでいながら私。
車に居てから周囲の方には「う」と当時のお話と
河「人は強くはいる、強い」とうことを喜びました。
今、つらな方も大勢いらっしゃるかと思っています。
神戸は復興と遂にいつか、この力を活かして
がんばってほしい。

(お名前) ^{あし}森 ^ほ島 ^{あす}西美

(年齢) 29才

(ご住所) 兵庫 都道府県 神戸 市・郡

「1.17メッセージ」応募用紙

God Speed!
you & me.

(お名前) ^{おにし せいじ} 尾西 誠二

(年齢) 36才

(ご住所) 兵庫 都道府県 神戸 市・郡

阪神・淡路大震災10周年記念

「1.17メッセージ」応募用紙

全ての人々が社会と、そして
周囲の人々と支えられて
生きているということ、
謙虚に考えること、
あの時、励まし励まされたこと
一人ひとりが心の中で風化せず
はならないと思います

| | | | |
|-------------|---------|----|-----|
| ふりがな お名前 | 三輪 真一 | 年齢 | 40才 |
| ご住所 | 兵庫 都道府県 | 神戸 | 市 郡 |

阪神・淡路大震災10周年記念

「1.17メッセージ」応募用紙

阪神・淡路大震災での出来事は
今でも忘れる事が出来ません。
美しい神戸の街を二枚からも見守りながら
行きたいと思います。

| | | | |
|-------------|-------|----|------|
| ふりがな お名前 | 近藤 有香 | 年齢 | 25 才 |
| ご住所 | 都道府県 | 神戸 | 市 郡 |

阪神・淡路大震災10周年記念

「1.17メッセージ」応募用紙

~~「震災は忘れません。」~~

ボランティアの方々に
お世話にいたしました事も、

皆で協力した事も忘れてはいたくない
と思っております

| | | | | | |
|-------------|-------|------|------|-----|---|
| ふりがな お名前 | 丹波 由子 | 年齢 | 24 才 | | |
| ご住所 | 兵庫 | 都道府県 | 神戸 | 市・郡 | 市 |

「1.17メッセージ」応募用紙

阪神・淡路大震災から10年。

10年内 色々な~~経験~~を自身を振立立てて~~物~~頑張った事もあった。

以前と同じ日常を取り戻して今、新潟中越地震を、人ごとの様に客観的に見ている自分かいると少しほずかしく思う。

今一度 自分になにができるのか考え直したいと思う。

(お名前)

谷 誠司

(年齢)

27

(ご住所)

兵庫

都道府県

神戸

市・郡

「1.17メッセージ」応募用紙

震災の時

全国の皆様からの励ましと援助。

地域の人たちが一丸になったの 助け合い。

被災した職場の復旧作業中での お皆様からの励ましの言葉 -----

不幸な災害でしたが、人の優しさか身にしてみたい経験でも
ありました。

あの時の参拝で、「人に對する信頼、を忘れないように」と思っ
ています。

(お名前) 大岡知行

(年齢) 42

(ご住所) 兵庫 都道府県 神戸 (市・郡)

「1.17メッセージ」応募用紙

「あの時は、本当に大変だったネ」と
回想が事に出来る。私は今、幸福です。
最近、ある有名なスローランの言葉に
引用すれば「近い目標は、遠い目標に
通じる」この言葉を信じて、頑張っています。

(お名前)

如月 由美子

(年齢)

(ご住所)

都道府県

神戸市・郡

「1.17メッセージ」応募用紙

「かんぼろう神」から10年。

神は元気で居ました。

あの頃は大変でした。

元気で居た神を見ることが出来た。

(お名前) 池田 真久

(年齢) 35才

(ご住所) 都道府県 神 市・郡

阪神・淡路大震災10周年記念

「1.17メッセージ」応募用紙

阪神・淡路大震災の10年経った今、明るく元気に頑張っています。当時大阪から神戸まで通勤していた私は、電車の途中までしか動いていなかったので、毎日半分以上の距離を自転車で通勤していた事をよく思い出します。今は、すっかり復旧してまいり神戸で生活をしております。これは、当時ご支援して頂いた方々のおかげだと心から感謝をしております。本当にありがとうございました。

| | | | |
|-------------|--------------|-----|------|
| ふりがな お名前 | ほし 組 谷 の 和 史 | 年 齢 | 38 才 |
| ご住所 | 兵庫 都道府県 | 神戸 | 市・郡 |

「1.17メッセージ」応募用紙

10年経つて今でも、当時テレビで見た震災の
光景は目に焼きついていまだ。

あれから10年 -

まさか自分自身がこの神戸で働くことになるとは
夢にも思っていませんでした。

すっかり美しくなった街並を眺めながら、

その陰で努力されてきた多くの人の思いを

復興の

いつまでも忘れない自分でありたいと思いはず。

(お名前) 三宅 利枝

(年齢) 22

(ご住所) 兵庫 都道府県 神戸 市 郡

阪神・淡路大震災10周年記念

「1.17メッセージ」応募用紙

震災の恐怖

心にきざんで頑強^ろう！

| | | | |
|-------------|--------|------|--------|
| ふりがな お名前 | 田中 なりえ | 年齢 | 56才 |
| ご住所 | 兵庫 | 都道府県 | 神戸 市・郡 |

阪神・淡路大震災10周年記念

「1.17メッセージ」応募用紙

“忘れないこと、賞^{人の}えておくこと”

悲しかった体験や辛い思い、^{人の}優しいなど、
色々な言記憶をずっと心に留めておくことが
これからも大切だと思ひます。
私たちにずっと忘れません。

| | | | |
|-------------|------------------|-----|------|
| ふりがな お名前 | だんごこ あすけ 段床 梓 | 年 齡 | 24 才 |
| ご住所 | 兵庫 都道府県 | 神戸 | 市・郡 |

阪神・淡路大震災10周年記念

「1.17メッセージ」応募用紙

阪神・淡路大震災から10年が経ちました。
当時の混乱のほか全国からのボランティアの方や救援物資
などの温かい支援に感謝。物質的、精神的にも
立ち直り、あの時の経験に基づいてボランティアなどに
取り組むたいと思います。

| | | | |
|-------------|-------|------|--------|
| ふりがな お名前 | 木下 史子 | 年齢 | 才 |
| ご住所 | 兵庫 | 都道府県 | 神戸 市・郡 |

「1.17メッセージ」応募用紙

決してあの時の感謝の気持ち
は忘れません。

(お名前) セト 梨菜

(年齢) 37才

(ご住所) 兵庫 都道府県 神戸 市・郡

「1.17メッセージ」応募用紙

—あれから10年。変わり果てた神戸の街。

たぐさんの涙を流したけど"ほかり知れ

ない人々からの愛と希望を受けて 和達の

神戸は生まれ変わりました。

感謝の気持ちを忘れずに 神戸を歩いていきたい。

(お名前) 福永 美保

(年齢) 35

(ご住所) 兵庫 都道府県 神戸 (市・郡)

阪神・淡路大震災10周年記念

「1.17メッセージ」応募用紙

10年前、当時私は大学の1年生の終わりでした。皆でスキーでどうが?と
計画を立てていた時期に震災は起りました。もちろんスキーどころでは
なく、変わり始めた近所の様子や電気・ガス・水道のライフラインも
ままならずな避難所での生活などさまざまな苦労がありました。
しかし、それを支えてくれたのが、当時ふりが入念していた、大学のクラフ
ト部の同回生であり、先輩でした。
いろいろな面で助けをもらい、また顔も知らないくらゐ上のOBさんにも
ご心配をいたたきました。とてうれしかったのを10年たった今でも
思い出します。

今は同回生、先輩も全国をそれぞれの地で活躍し、めつ=合つ=
ともできなくなりましたが、10年目を迎えるにあたり、改めて
お礼を言いたいと思います。「ありがたうございました」。

| | | | |
|-------------|-----------------------|------|-------|
| ふりがな お名前 | なう どう しょう へい 内藤 修平 | 年齢 | 29才 |
| ご住所 | 兵庫 | 都道府県 | 神戸市・郡 |

「1.17メッセージ」応募用紙

今私は神戸市に住んでいますが、震災当時は愛知県に住んでおりました。そのため頭や心では、大変なところだと感じておりましたが、実際の当時者にしてみれば、私ともの想像をはるかに越えて大変なところだと思います。今いよいよ仕事を神戸の人々と仕事をし、どこに住んでいる人たちと変わらぬように一瞬見受けられませんが、やはり震災の語になるとみなさん感慨深い思い、というのをのびるのを見るとやはり心の傷をいよさらうように懸命にがんばってこまごまおこなったなとつくづく感じます。これから負けないで頑張ってがプラスになるようにがんばってほしいと思います。

(お名前) 商島 大 理

(年 齢) 38

(ご住所) 兵庫 都道府県 神戸 市・郡

阪神・淡路大震災10周年記念

「1.17メッセージ」応募用紙

震災から10年。長野への
 高校2年の冬、修学旅行から帰ってきた次の日の
 出来事でした。
 電車通学の為、電車の復旧を待っての登校。
 長田区上沢の学校の周りは一瞬焼け野原で
 言葉も出ないほどの光景でした。
 今でも倒壊の為逃げることが出来ず火災に合っ
 てしまった犠牲者の方の事を思うと目頭が熱く
 なる思いです。
 10年たったら神戸の街もすっかり美くなりました。
 当時にくさんの暖かいボランティアの方に助けられ
 支援いただき 人の暖かさや何よりの支えに
 なると思えました
 本当にありがとうございました。
 新潟の皆様も大変でお疲れ張って下さい!!

| | | | |
|-------------|-----------------|------|----------|
| ふりがな お名前 | せと はるこ 瀬戸 裕子 | 年齢 | 27 才 |
| ご住所 | 兵庫 | 都道府県 | 神戸 (市) 郡 |

「1.17メッセージ」応募用紙

あれから、もう10年たったのかというのが正直な気持ちです。神戸では、天井が落ち、ビルが倒壊してしまいました。そのビルの中から商品を搬出した時は、地震が営業時間ではなかったと、思いました。

今、被害が多く、いつおこるか分かりません。常に震災の教訓を忘れない防災意識を持って備わりたいと思います。

(お名前) 三谷 悠慈

(年齢)

25

(ご住所)

兵庫

都道府県

神戸

市・郡

| | | | |
|----------------------------------|------------------|-------------------|------------------------|
| 参加希望コース等 (希望コースに○を 付けて下さい) | | | |
| 住 所 | 兵庫 都道府県 神戸 市・町・村 | | |
| フリガナ 氏 名 | 西 信夫 (63歳) | 参加総人数 (申込者を含む) | ※2人以上の場合に記載して下さい。 人 |

1.17メッセージ欄 (記入は任意です。)

震災のあつちあつちの日を思い出すと、火の海と崩壊した街、思いのほか早く
復興したが、多くの尊い命は返さらない。1月17日は
これからの10年のスタートと12の追悼の日として。

阪神・淡路大震災10周年記念

「1.17メッセージ」応募用紙

報道などで新潟の震災での自衛隊の方々の活躍のお姿を拝見するたびこの10年間忘れられないあの日の事が思い出されます。全国から救援に来て下さった自衛隊の隊員さんに助けをいただいた事です。後で聞きましたら「仙台」の隊の方のようでした。

この場をお借りして私の感謝の気持ちをお伝えできれば幸いです。覚えていらっしゃるでしょうか。震災後一週間ほどした夕方、その日の救援活動を終えられ、郊外のキャンプ地まで帰られる途中でのことです。市中の湊川という所で車の大渋滞にあり、施設に連れて行く為、白い軽自動車に乗せていた病身の老母の体調が悪くなり車を止め、飲み水を求めて、ウロウロ、オロオロしていた私の様子を横で停滞中の隊車の中から見られて、気付かれたのでしょ。わざわざ降りてこられ、ご自分の飲み物と夕食のお弁当まで差し入れて下さった事です。おかげ様で当時93才だった母も、その後3年間生き永らえ逝きました。

私は、あの時のお優しいお顔が今も忘れられません。あらためて、亡き母ともども心よりお礼申し上げます。国民の為に、ますますのご活躍をお祈りしております。

| | | | |
|-------------|---------|--------|-----|
| ふりがな お名前 | 細川 萬里子 | 年齢 | 67才 |
| ご住所 | 兵庫 都道府県 | 神戸 市・郡 | |

切り取り

郵送・FAX用

1.17ひょうごメモリアルウォーク2005 参加申込書

| | | | |
|----------------------------------|--|-------------------|------------------------|
| 参加希望コース等 (希望コースに○を 付けて下さい) | (1)15キロコース(西宮市役所) (2)10キロコース(芦屋・川西運動場) (3)2キロコース(王子公園) | | |
| | (4)10キロコース(県立文化体育館) (5)5キロコース(大倉山公園野球場) (6)追悼式典会場 | | |
| 住所 | 兵庫県 神戸市 | | |
| フリガナ 氏名 | 岡本 華江 (75歳) | 参加総人数 (申込者を含む) | ※2人以上の場合に記載して下さい。 人 |

1.17メッセージ欄 (記入は任意です。) 長向きは、助けられながら歩けるのほかに、
人情話ばかりであるが、被災者が後々まで人間にあつた事を感じ
見違えられた。例①建築業者の横暴、②③解決に頼る人
の態度に引かされ、④井が土に半がたれ、④知人、友人は
勿論、家族にも見はる⑤神戸市の幹部に「おん左の生死はどうか
下中にもおん左の運命も、思給もる(と)。」と云われ、事

(078) 362-4378

H17. 1. 7.

1.17 ひょうごメモリアル・ウォーク 2005
実行委員会 御中

下記の通り参加申込み致します。

郵送・FAX用

1.17ひょうごメモリアルウォーク2005 参加申込書

| | | | |
|----------------------------------|-------------|-------------------|------------------------|
| 参加希望コース等 (希望コースに○を 付けて下さい) | | | |
| 住 所 | 都道府県 | 神戸 | 市・町・村 |
| フリガナ 氏 名 | 荒木 寛治 (73歳) | 参加総人数 (申込者を含む) | *2人以上の場合に記載して下さい。 人 |

1.17メッセージ欄 (記入は任意です。)

外観や住み心地を犠牲にしても、自然災害に強い住宅や地域
社会を築くことの大切さを若に人々に伝えるべき

1.170よつとスセリアルウォーク2005 参加申込書

| | | | |
|--------------------------|--------------|-------------------|------------------------|
| コース等 ・スに○を 付けて下さい) | | | |
| 所 | 兵庫 都道府県 | 市・町・村 | |
| ガ ナ 名 | 川上 政男 (73 歳) | 参加総人数 (申込者を含む) | ※2人以上の場合に記載して下さい。 人 |

メッセージ欄 (記入は任意です。)

兵庫県西宮市西町で駅弁ストアで毎朝ラジオ体操と
なれ其の後7:40分より約40分歩くと行っている。老人が
懐クラブで過去10年以上も行なっている。元気な健康老人で
今回のスセリアルウォークも去年初めて参加しました。とても感動を
受けています。おかげで、このウォークに参加することが出来たことに感謝しています。

| | | | |
|----------------------------------|---|-------------------|--------------------------|
| 参加希望コース等 (希望コースに○を 付けて下さい) | (1)15キロコース(西宮市役所) (2)10キロコース(芦屋・川西運動場) (3)2キロコース(王子公園) (4)10キロコース(県立文化体育館) (5)5キロコース(大倉山公園野球場) (6)追悼式典会場 | | |
| 住 所 | 兵庫 都道府県 神戸 市・町・村 | | |
| フリガナ 氏 名 | 高島 英夫 (66歳) | 参加総人数 (申込者を含む) | ※2人以上の場合に記載して下さい。 3 人 |

1.17メッセージ欄 (記入は任意です。)

母は関東大震災を経験していたので「怖くない」と、家内は地震の経験がなく「何が起こればいいから」と。私だけが「南海大地震 相模大地震を知っていたので大あわてであつたが、何が三人と走って助けたか」私の勤務先の人々を助けた。6千有余の方が帰らぬ人になつた。長江を思い出し、幸福をお祈りします。

件名: メモリアルウォーク参加申し込み

1. 参加希望

2. 住所 神戸市

3. 氏名 宮本 知治 (42歳)

4. メッセージ

自然と共生していることを、改めて思い起こし、
人間が地球を思うままにできるという驕りを
戒めることのできる日。
一日一日を一生懸命生きることが子達に伝えていきたい。

1.17ひょうごメモリアルウォーク実行委員会 御中

次のとおり1.17ひょうごメモリアルウォーク2005に参加申し込みいたします。

神戸市

水口福弘(みずぐちふくひろ)(70歳)

1.17メッセージ

6,400人を超える尊い命を奪ったあの阪神・淡路大震災から丸10年。瓦礫の山と化し、灰色の空気に覆われた街からようやく復興したかに見えますが、跡地にはマンションや駐車場ができ、元の地に帰れなくなった大勢の人が居ます。私も被災者の一人として、被災者のこの10年の苦しみはよくわかります。震災弱者に対する思いやりと対策はまだまだ必要です。

1.17メモリアルウォークを通して震災の体験と教訓を全国に発信しましょう。そしてかけがえのない大切な命をみんなで守りましょう。

郵送・FAX用

1.17ひょうごメモリアルウォーク2005 参加申込書

| | | | |
|----------------------------------|---------|-------------|--|
| 参加希望コース等 (希望コースに○を 付けて下さい) | | | |
| 住 所 | 兵庫 都道府県 | 神 戸 (市・町・村) | |
| フリガナ 氏 名 | オリ 堀 | ケン 洋 | (72歳) 参加総人数 (申込者を含む) ※2人以上の場合に記載して下さい。 人 |

1.17メッセージ欄 (記入は任意です。) 阪神大震災10年を前に生活科学研究所が行った
 県民対象の調査により「地震への備え、何もない」が震災直後の増加している。(7月6日付 朝日新聞)
 阪神大震災による被災体験の風化防止と防災意識の高揚のために、
 メモリアルウォークはこれからも是非継続して欲しい。

各地での地震の災害に合わせ、言葉に表わせない
 非痛の思いをされた方々と共に、その思いを少しでも共有
 出来ればとの気持ちをもって参加させて頂きます。
 よろしくお願ひ致します。

郵送・FAX用

1.17ひょうごメモリアルウォーク2005 参加申込書

| | | | |
|----------------------------------|-------------|-------------------|------------------------|
| 参加希望コース等 (希望コースに○を 付けて下さい) | | | |
| 住 所 | 兵庫 都道府県 | 神戸 市・町・村 | |
| フリガナ名 | 入船佐奈江 (71歳) | 参加総人数 (申込者を含む) | ※2人以上の場合に記載して下さい。 人 |

1.17メッセージ欄 (記入は任意です。)

.....

.....

.....

.....

郵送・FAX用

1.17ひょうごメモリアルウォーク2005 参加申込書

| | | | |
|----------------------------------|---------------------|-------------------|------------------------|
| 参加希望コース等 (希望コースに○を 付けて下さい) | | | |
| 住所 | 兵庫 都道府県) 神戶 (市) 町・村 | | |
| フリガナ 氏名 | 福原 陽子 (65歳) | 参加総人数 (申込者を含む) | ※2人以上の場合に記載して下さい。 人 |

1.17メッセージ欄 (記入は任意です。)

去年に続き本年度も夫婦で参加します
多数の仲間と兩年をふりかえり強く歩くのはスガタ
しい気持ちになれず「はっ、気持ちいい」です
親友を喪った仲間を身代りに感じる事が出来る

ひょうごメモリアルウォーク 2005 に
参加申込み頂いた方からのメッセージです。

「1.17メッセージ」応募用紙

震災と震災の教訓を忘れずにいたい。復興の現実をかみ締めた。

(お名前) 上田和宏 (ウエダカズヒロ)

(年齢) 66 歳

(ご住所) 兵庫県神戸市

| | | | |
|----------------------------------|---------------|-------------------|------------------------|
| 参加希望コース等 (希望コースに○を 付けて下さい) | | | |
| 住 所 | 兵庫 都道府県 | 神中 町・村 | |
| フリガナ 氏 名 | 三浦 隆 隆子 (39歳) | 参加総人数 (申込者を含む) | ※2人以上の場合に記載して下さい。 人 |

1.17メッセージ欄 (記入は任意です。)

- あの日に忘れたいために歩くに参加(す。 10年、長い砂の短い...
 けれど我が子は10歳と。確実に歩く時を刻みつけていこう。
 子供達にも伝えたい。震災があったことを知ってほしい。人の心の傷
 の浅い子供は育てない。祈願を込めて歩きたいと思っております。

郵送・FAX用

1.17ひょうごメモリアルウォーク2005 参加申込書

参加希望コース等
希望コースに○を
付けて下さい)

| | |
|------------|--|
| 住所 | 兵庫 都道府(県) 神戸 (市)・町・村 |
| フリガナ 氏名 | 伊達 明 男 (51歳) 参加総人数 (申込者を含む) ※2人以上の場合に記載して下さい。 人 |

1.17メッセージ欄 (記入は任意です。)

あの日は、涙に惹かれたい。人の温かみを教えてくれた
人生の大きな記念日です。

郵送・FAX用

1.17ひょうごメモリアルウォーク2005 参加申込書

| | |
|----------------------------------|--|
| 参加希望コース等 (希望コースに○を 付けて下さい) | (1)15キロコース(西宮市役所) (2)10キロコース(芦屋・川西運動場) (3)2キロコース(王子公園) |
| | (4)10キロコース(県立文化体育館) (5)5キロコース(大倉山公園野球場) (6)追悼式典会場 |
| 住 所 | 兵庫 都道府県 神戸 市・町・村 |
| フリガナ 氏 名 | 正田 日出夫 (69歳) 参加総人数 (申込者を含む) ※2人以上の場合に記載して下さい。 人 |

117メッセージ欄 (記入は任意です。)

住吉川東緑地から参加します。ゴルフ地帯集いの広場まで7.1km
ウォーキングします。神戸港をながらわたるお宝福をお祈り致します。
健康な参加をお祈りして感謝します。地域ボランティアに専念して居ります。

2005年11月17日 参加申込書

| | |
|--------------------|---------------------|
| 〒 (希望コースに○を付けて下さい) | |
| 住所 | 兵庫 都道府県 神戸 市・町・村 |
| フリガナ氏名 | 花村 靖雄 (67歳) |
| 参加総人数 (申込者を含む) | *2人以上の場合に記載して下さい。 人 |

1.17メッセージ欄 (記入は任意です。)

6400人を超える大震災の犠牲となられた老若男女の御霊にあらためて鎮魂の意を捧げます。
 又数多の困難・苦難をのりこえ明日に向けて生きるこの尊さを実証されている伊達族・被災者の
 皆様にはけましの言葉を贈ります。私達は震災の残した全てを風化させることなくいつまでも語りなが
 らい、いかに大切であるかを月日に銘じて生きていかなければならないと思う。忘れない、忘れないぞ

95' 1. 17を

郵送・FAX用

1.17ひょうごメモリアルウォーク2005 参加申込書

| | | | |
|----------------------------------|-------------|-------------------|------------------------|
| 参加希望コース等 (希望コースに○を 付けて下さい) | | | |
| 住 所 | 兵庫県 | 神戸市 | 市・町・村 |
| フリガナ 氏 名 | 片山 洋子 (60歳) | 参加総人数 (申込者を含む) | ※2人以上の場合に記載して下さい。 人 |

1.17メッセージ欄 (記入は任意です。)

常に身心共に元気です。
歩きながら七つの方、遺族の方へ思いを馳せたいと
思います。このころ身心共に元気が一番！見守り
ものを大切に大切に先を見て歩いていると思います。

1.17ひょうごメモリアルウォーク2005 参加申込書

| | | | |
|----------------------------------|--|-------------------|-------------------|
| 参加希望コース等 (希望コースに○を 付けて下さい) | | | |
| 住 所 | 兵庫 都 府 県 神戸 市 ^① ・町・村 | | |
| フリガナ 氏 名 | 磯島 正晴 (70歳) | 参加総人数 (申込者を含む) | *2人以上の場合に記載して下さい。 |

1.17メッセージ欄 (記入は任意です。)

昨年のメモリアルウォークは芦屋川西運動場からスタートしましたが
 本年は震災から10年を迎える節目の年でもあります。西宮市役所からス
 タートし、震災当時の様子を思い出しつつ参加したいと思っております。

郵送・FAX用

1.17ひょうごメモリアルウォーク2005 参加申込書

| | | | |
|----------------------------------|-------|-------|---------------------|
| 参加希望コース等 (希望コースに○を 付けて下さい) | | | |
| 住 所 | 兵庫 | 都道府県 | 神戸 (市) 町・村 |
| フリガナ 氏 名 | 平井 悦子 | (65歳) | 参加総人数 (申込者を含む) 人 |

1.17メッセージ欄 (記入は任意です。)

あれから、はや10年が経ちました。一回でも元気
いられたらよいと思っています

メッセージ: 今年、あの時から10年になりますね。

今、小学校で4年生を担当しています。この子供たちは、あの時「生まれたばかり」か「お腹の中でもうすぐの誕生を待っている」子供たちです。この子供たちにあの時のことを学習してもらって、これからの子供たちに伝えてもらいたいです。

ところで、今年の音楽会で、今日リクエストします「エール」(作詞・作曲 美鈴みゆき さん)を歌いました。9月から練習を始めて、11月に本番でした。「みんなが声を掛け合い、助け合って頑張ろう」と言うものです。その練習中に、新潟で地震がありました。子供たちと一緒に新聞を切り抜いて、いろいろと調べてまとめました。得に「小さな子が、岩の下から救い出されたニュース」は、食い入るように見ていました。

わたしは、子供たちの歌う「エール」を新潟の小学校に届けて、聴いてもらい、勇気を持ってもらおうと考え、子供たちも賛成してくれました。でも、著作権の関係で簡単にできないことが分かり、断念しました。そこで、私たちの代わりに新潟の人々に届けて頂ければと考えてリクエストします。よろしく願いいたします。

名前: 横川八郎(よこがわはちろう)

年齢: 50

住所: 神戸市

メッセージ:神戸で生まれ育った私にとって ほんとになにもかもなくなってしまった震災は悲しいものでした。でも その寂しさから立ち直って復興したい今の神戸は 昔とは面影が違うところもあるにせよ 力強くしっかり大地にたって再現されています。

この力こそが まさに神戸の魂だと思います。

自信がなくなったり 勇気がでなかったり つぶれそうになってときに この立て直された神戸の町を見て 勇気を奮い起こすことのできるのが 神戸っ子だと思っています。

これからも 震災の出来事を忘れず それを力にして 何事も乗り越えなければと思っています。

名前:柴田 麻由美

年齢:35

住所:神戸市

メッセージ:震災から十一年たって色々な事を思い出します。
あの時僕は小学5年生で、震災当日には
何もできず、ひたすら泣いていました。

その間にも被害の酷かった地区ではどんどん
人が亡くなっていったと思うと
あの時何故子供だったのか
何故何もできなかったのかと悔やむ気持ちが
今になって思ってしまう

大人やボランティアがしてきた事を
あの時僕は恐怖のあまり見過ごしていましたが
今になって思い出せば、当たり前のことをする
という事があんなにも安心感を与えていたのかと
痛感させられます。

今大学3年生の冬、就職活動中な僕は
神戸の復興事業にたずさわりたいと思い
神戸市職員目指して奮闘しています。

神戸市の公務員は倍率が非常に高く
受かるかどうか微妙な所ですが
僕が今まで育ってきた神戸にできる
せめてもの恩返しという事で
絶対に受かってやる、と
自分と、そしてこの神戸に約束しました。

名前:中蔦憲二(なかつたけんじ)

年齢:20
住所:神戸市

メッセージ: はじめまして。

あれから10年経ち、このように振り返る機会があったので、あの時の話をひとつ思い出して書いてみます。

当時私は神戸市内の某病院のナースでした。

住んでいた地域の建物への影響は比較的少なく、職員の殆どが徒歩圏に住んでいたのも、幸いにも報道であったような大混乱とまでは行きませんでした。しかし水やガスがない、余震が続く中での勤務は非常にストレスがたまるものでした。いつでも避難ができるようにと、私服で勤務していました。

1月の下旬か、2月の中旬だったと思います。

徳島から復旧作業に来られていた当時50歳代の男性が過労で入院されました。すぐに退院され、一旦徳島へ戻られたのですが、数日して、職場に来てくださったのです。しかもダンボールいっぱい軍手や生理用品やら、いろいろ日用品を入れて。

私達ナースに下さったのです。

普段は頂戴しないのですが、この時はありがたく頂戴いたしました。

満面の笑みで持ってきてくださいました。そしてその方はまた復旧作業へ行かれたのでした。

あの時の恩は忘れません。

今何をされているのかな？
会ってお礼が言いたい人の一人です。

名前: 矢末 敬子(やすえ けいこ)

年齢: 34
住所: 神戸市

メッセージ:私を元気付けた音楽として、
1つは、岡本真夜の『涙の数だけ強くなろうよ』で始まる歌(TOMORROWだったと思う)—¥いつも涙が出るほどジーンとして頑張らなくてはと思った。
もう1つは、シャランQの『空を見なよ』—¥この曲が勤め帰りによく行くコンビニ(ダイエー系)で流れると明日への元気をもらえたような気がして好きだった。
今もそのときのことは忘れない。

名前:平井正一(ひらい しょういち)

年齢:51

住所:神戸市

メッセージ:地震が起こった瞬間何がどうなったのか解らず、よそではもっと悲惨な事が起こっていると思ってました。停電で、明かりも付かずまたテレビで情報を得ようとしても写らない……有るだけの乾電池を集めてきてポータブルTVを見て何時も自分が走っている阪神高速の崩壊の場面を見て足がすくんだこと今も鮮明に覚えています。でも、神戸市民は元気にこうして立ち直りました。自分も含めて褒めてやりたいです。

名前:土肥昭三(どひしょうぞう)

年齢:54

住所:神戸市

メッセージ: 大学の事務局に勤めています。大学生があのことろ小学生だったと思うと、どんな思いであのころを過ごしていたのかと思うと、不思議な気分になります。

福祉や心理学の授業で、震災のことを扱って、震災のビデオを見せる授業もあるそうですが、何人かは耳をふさいで突っ伏してしまうそうです。そんな学生たちの心に、いつか平安がくることを祈っています。

名前: 上念省三(じょうねんしょうぞう)

年齢: 45

住所: 神戸市